



Title	KIAPSによるH-NET訪問記
Author(s)	田中, 仁
Citation	大阪外国語大学アジア太平洋論叢. 1997, 7, p. 244-246
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/99759">https://hdl.handle.net/11094/99759</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## KIAPS による H-NET 訪問記

田 中 仁

昨年9月、ハーヴァード大学で研修中の松田武教授と私たち3人（秋田茂助教授、山田康博助教授と私）は、H-NET (Humanities On-Line) と大阪外国語大学アジア太平洋研究会（KIAPS、会長：赤木攻教授）との提携強化を目的として、H-NETセンターの所在地であるミシガン州立大学、コンピューターを活用した人文科学研究においてアメリカにおける先端的地位を占めるヴァージニア大学人文科学先端技術研究所およびワシントンとボストンを訪問した。

H-NETは、現在、約70か国に延べ43,000人の会員を有し、70を越すディスカッション・リストをもつ世界最大級のオンラインの人文・社会科学系学術組織である。ミシガン州立大学では、マーク・コーンブル助教授のアレンジによって、ハロルド・マーカス教授（H-AFRICAの主宰者）らNETの中核的人物やセンターのスタッフのみならず、チャールス・グリーンリーフ副学長をはじめとする各部門の責任者と交流する機会をもつことができた。またヴァージニア大学には、H-NET会長のリチャード・ジェンセン教授が同行された。さらにワシントンでは、ディーアン・キャンベル教授らH-NET関係者とのワークショップがもたれ、この組織の現状と課題について広範な意見交換が行われた。この後、同地において、H-NETとKIAPSとの関係強化を内容とする協定に調印した。

今回の訪米で、人文科学研究のグローバルな交流においてH-NETがどのような役割を果たし、さらに今後いかなる貢献をなしうるのかについて、現にそれを

### 〈訪問日程〉

MONDAY 9/16/96

- |            |  |
|------------|--|
| 10:30 a.m. | Tour of MSU Campus w /Dr. David Bailey   |
| 11:30 a.m. | CONFERENCE ROOM HISTORY W/MSU @H-Net Senior Staff                                    |
| 12:00 Noon | Lunch w/H-Net Staff at EVERGREEN GRILL   |
| 2:30 p.m.  | Dr. Henry Silverman, 301 Morrill Hall  |
| 3:00 p.m.- | Professor Shigeru Akita TALK IN HISTORY DEPT.  |
| 5:00 p.m.  |  |
| 7:00 p.m.  | Dinner w / Professor Harold Marcus, Professor Linda Johnson, Professor Matsuko Endo- |

統括し支えている人々と直接意見を交わすなかで理解しえたことが、最も大きな収穫であった。

そしてそれは、私たち日本の研究者がこうした交流をさらに深化させるために何を提起し実現していくのかということについて、彼らが受け入れうる具体案を構想する足場を獲得したと言い換えることもできよう。そのひとつがH-Zipang構想である。

70を越すH-NETのディスカッション・リストのひとつに日本研究を対象とするH-JAPAN があり、それは国際交流基金の資金援助で実現した唯一の英語と日本語をベースとするバイリンガル・リストである。しかしながら、対象を日本研究に特定しているため、事実上アメリカの（あるいは英語を母語とする）日本研究者の交流の場となっており、現状ではバイリンガル・リストとしての利点を充分活用しているとはいいがたい。そこで私たちは、こうしたH-NETが有しているバイリンガル・リストの利点をフルに生かすとともに、インターネットのソフト面での進歩をふまえつつ、日本語をベースにしたマルチリンガル（さしあたりは中国語とハングルを視野にいれた）のディスカッション・リストをH-Zipang構想と名づけ、H-NETに提案した。

その概要は以下のとおりである。1)  
H-Zipangは、H-NET・KIAPSとミシガ

Hudson & Professor  
Hudson

## TUESDAY 9/17/96

- 11:00 a.m. Fred Bohm, Director  
MSU Press, 336 Business  
College Complex
- NOON Lunch w / Professor  
David Bailey and others
- 1:30 p.m. Professor Michael Moch,  
Management, 336 N. Bu-  
siness Complex
- 2:00 p.m. Dr. Charles Greenleaf,  
MSU Vice President, 444  
Adm. Bldg.
- 3:30 p.m. Paul Landen, MSU Over-  
seas Study Office, 110  
Int'l Studies Bldg.
- 7:00 p.m. Banquet Chinese Dinner  
at Gourmet Village Din-  
ner w/Professors Mark  
Kornbluh, Sayuri  
Shimizu (U.S. Diplo-  
matic History), Victor  
Jew (U.S. Legal His-  
tory), Miriam Behar,  
(Pediatrician)

## WEDNESDAY 9/18/96

- 11:00 a.m. Professor Jack Willi-  
ams, Director MSU Asi-  
an Studies, 110 Int'l  
Studies
- Noon Lunch
- 2:00 p.m. Professor John Eadie,  
Dean, College of Arts  
and Letters, 320 Linton  
Hall

ン州立大学の後援によるインターネットを通じての人文・社会科学分野の研究者のための日本語によるディスカッション・リストである。2) H-Zipangの目的は、日本国内の各々の学問分野を横断した人文・社会科学分野全体の研究者の間での学術ネットワークを構築し、日本の研究者と外国の研究者との橋渡しとなり、日本における学問的蓄積および最新の成果を世界に発信することである。3) H-Zipang には、a. 学術書・論文の書評と紹介、b. 「ディスカッションペーパー」、c. シラバス・報告概要・レジュメ・書誌目録・資料紹介・書誌情報やコンピューターソフト、CD-ROMの紹介、d. 学会の通知・研究会会報目次など、e. 公募・就職に関する情報、f. H-NETの他のリストの紹介、g. 共同研究・ファンドの応募者募集など、h. スカラシップ、フェローシップ情報、などを掲載する。4) H-Zipangのホームページを開設し、すべてのメッセージを保存する。

この構想を立ち上げさらに運営していくためには、少なからずの課題が存在することもある事実である。しかしながら同時にそれは、国際的連携と国内的連携との接点に新たな学術交流の場を構築しようとするものであり、少なくとも本学の特色に根ざした独自の「学問」をつくりあげていくうえで「ひとつの」可能性を秘めた「芽」とすることができよう。

- 3:00 p.m. Professor John Hudzik,  
Dean International Studies,  
207 Int'l Studies Bldg.
- 4:00 p.m. Professor Eugene Gray,  
Director Language Learning Project,  
112 OHB
- 6:30 p.m. Dinner / Official Reception,  
House of Mark Kornbluh and Miriam Behar

#### THURSDAY 9/19/96

- 10:00 a.m. American History Graduate Assistants / HISTORY Dept. Conference Room
- 1:05 p.m. Lv Lansing
- 1:05 p.m. Arr Chicago
- 2:15 p.m. Lv Chicago
- 4:53 p.m. Arr Washington National Drive to Charlottesville, VA

#### FRIDAY 9/20/96

- Visit Institute for Advanced Technology in the Humanities  
E-Text Center  
UVA Library
- Host Professor Edward Ayers  
(U.S.Southern History)  
Drive back to D.C.

#### SATURDAY 9/21/96

- 10:00-4:00 H-Net Meetings workshop at MSU@DC 499 S. Capitol, Suite 500A